



セット内容

本機(スピーカー付きスタンドマイク)×1、
無線子機(小型スピーカー/マイク)×1、ACアダプタ×1、
取扱説明書・保証書

【本体】
振動装置:5W×1 ●ボリュームSW: 2個 ●ON/OFF SW
●ACアダプター:5V2A ●マイク:有線マイク×1
●貼付方式

【無線マイク】
●マイク:無線マイク×1 ●電池:内蔵リチウムイオン電池600mA
●ON/OFF SW ●充電USB

特徴

- 高音質な平面波で明瞭で聴き取りやすい。
- 音声のこもりなく高齢者にも聴き易い。
- 耐熱・耐寒・耐湿性に優れる。
- 取付が簡単(工事なし)
- 双方向に対応
お互いの会話音声を聴きやすく補完する
スピーカーシステムです

【デジタル無線機対応】

- 環境で他の無線周波数に影響を与えない
- 通信遅延がほとんどない(遅延を感じさせない)
- 省エネ
- 多数台設置可能
例:フロア(20m四方内)に80セット設置影響なし

【認証】



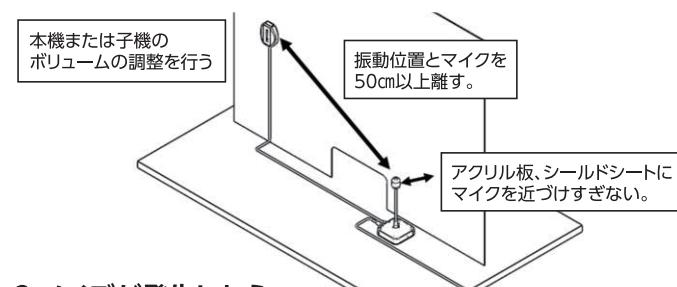
上手な使い方

1.振動装置の貼り付け位置、マイクの位置

- 貼り付けの基本位置は、パネルまたはシールドシートの中心から左または右寄りに貼ります。※貼り付け位置は中心付近なら基本どこでもかまいませんが、対面する人の顔に被らない位置がよいです。
- シールドシートに貼る場合、ある程度シートをピンと張ってください。上から吊り下げて張っている場合はシートの下に錘をつけるなどしてピンと張ったほうが良い音がでます。
- マイクは、声を拾いやすい位置に設置します。
- マイクは口元からある程度離して使用してください。近すぎると低音が強調されます。
- 無線子機側のマイクは、声を拾いやすい胸元の位置の衣服にクリップで留めます。
- 本機側のマイクも声を拾いやすい位置に設置します。
- 本機の底面がシールになっているので、設置位置は机上などの水平な場所でなくてもパネル、シールドシートなどの垂直で平ら場所にも貼ることができます。※振動装置および本機のシールは数回貼りなおすことができます。

2.ハウリング対策

- ハウリング“キーン”とか“ポーン”という耳障りな音が発生した場合、以下の対策をしてください。
- マイクと振動装置の距離を離してください。最低50cm以上離してください。
 - 振動装置を貼り付けているアクリル板、シールドシートなどからマイクを離してください。
 - 本機または子機のボリュームを下げてください。



3.ノイズが発生したら

携帯電話など強い電波を発する機器に近づけると、ノイズが発生する場合があります。本機や無線子機は、デジタル機器や高周波雑音のでる機器などからできるだけ離して設置してください。

※注「TOUGH BEAT」は拡声スピーカーや音響システムではありません。

製造元



株式会社オーセンティックインターナショナル
〒110-0016 東京都台東区台東3-2-5大林ビル3F
TEL 03-5826-4324 FAX 03-5826-4325

販売代理



株式会社 ワイズ
〒460-0014 名古屋市中区富士見町13番19号
phone 052-339-0522 fax 052-339-0523

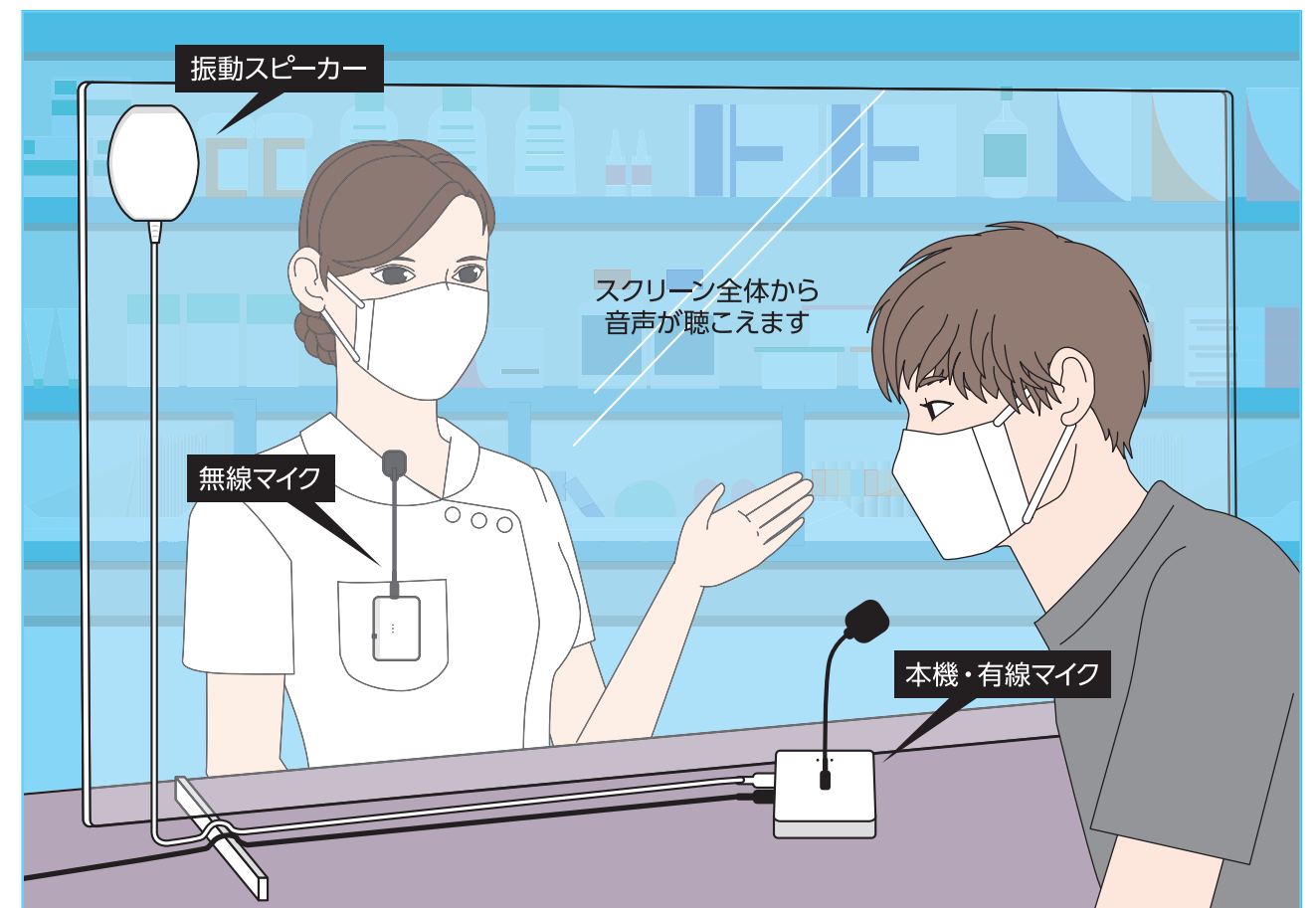
飛沫ブロックスクリーンスピーカー



TOUGH BEAT

タフビート

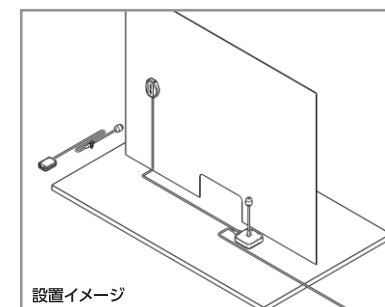
飛沫防止板(アクリル板・シールドシート等)を介した会話もスムーズに



音声クリアで快適に会話ができる

取り付け簡単!工事は不要

操作も簡単!



通常の会話も聴きにくいこの時代の為に 開発された平面スピーカーシステム

聴きにくい

聴きやすい



飛沫防止に欠かせない
マスクやシールドシートなどで
聴き取りにくい会話も

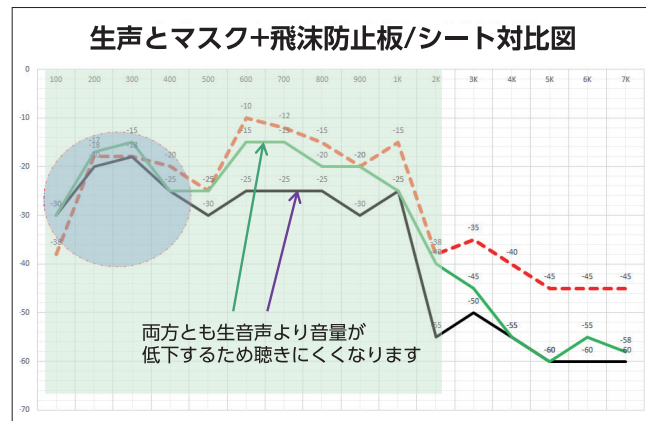


「TOUGH BEAT」を
簡単にセットすれば
会話も聴きやすくなります。

新型コロナウイルスの流行はまだ収まりがみえず、変異株も出現し世界の人々に脅威を与えています。
我々を取り巻く状況も一変して、コロナウイルスと共存していく環境作りが必要となりました。これはワクチン接種が実施されても当分は続くものと言われております。その対策として国や自治体はまん延防止等重点措置などで飛沫が多く飛び散る事業所ではアクリル板などの設置を法令に明記し義務化されました。
ここで問題となっているのは飛沫をブロックするスクリーンを介するとお互いの音声聴き取りにくくトラブルが発生する場合があります。このトラブルを回避するため、相互(両者)の音声は明確に聞こえる平面貼付「TOUGH BEAT」スピーカーを開発いたしました。飛沫をブロックしてお互いの会話(音声)が鮮明(音声の補完)になり安心・安全に使用できることを実現しました。このスピーカーは貼り付けるだけで工事は不要で簡単に設置できます。貼り付ける素材はアクリル板/シールドシート等です。なおこのスピーカーシステムは拡声器ではありません。お互いの会話音声を適度に補完し聴き取りやすい環境を作る平面スピーカーです。

飛沫ブロックスクリーン(アクリル板・シールドシート)使用時の音声の分析

音声聴きにくくなる分析

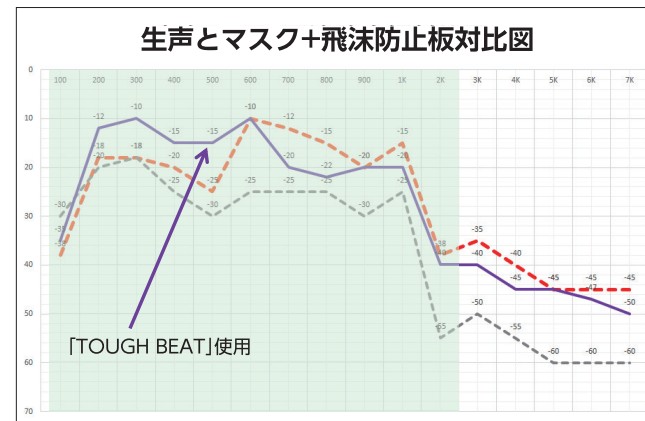


〈解説〉
—線は生音声を表します。
—線はアクリル板を介した
—線はシートを介した

会話領域

アクリル板・シートを介した場合どちらも高音領域の音量が低下するため聴きにくくなる原因です。

音声聴きやすくなる分析

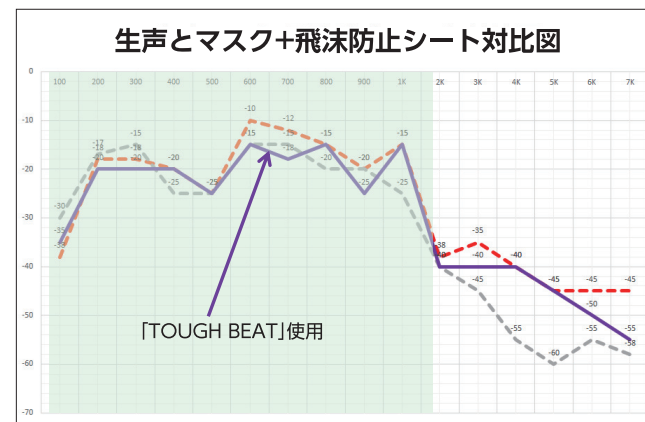


〈解説〉
—線は生音声を表します。
—線はアクリル板(上図)・シート(下図)を介した
—線は「TOUGH BEAT」を使用した場合

会話領域

「TOUGH BEAT」スピーカーで会話すると音声補完され生音声に近づく通常の会話のように聞こえます。

〈結論〉「TOUGH BEAT」を使用すると聴きやすくなる



専門医も推奨する平面スピーカー

従来のコーンスピーカーと平面スピーカーによる語音聴力検査を行い、平面スピーカーの成績の方が良い傾向が得られました。今後追加の研究を行い平面スピーカーの効果により明らかになれば、生活環境におけるスピーカーを平面スピーカーに変更することにより、超高齢化社会における加齢性難聴をきたした高齢者が何もなくても、聴き取りやすい環境が得られる可能性があります。

参考：平面(フラット)スピーカーによる高齢難聴者の聴取効果についての検討の報告書から抜粋(2021年1月)

東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科

リキタク マサヒロ
医学博士 力武正浩

イマガワ ノリエ
言語聴覚士 今川記恵

飛沫ブロックスクリーンスピーカー

TOUGH BEAT

タフビート

アクリル板やシールドシート越しの
聴き取りにくい会話音声を聴きやすく声を補完する
コストパフォーマンスが高い
工事不要のスピーカーシステムです



飛沫ブロック用スクリーン(アクリル板・シールドシート)に簡単装着!

病院窓口・銀行窓口・公共施設の窓口・チケット売り場・各種窓口・スーパーやコンビニのレジ・タクシー・ホテルフロント・オフィスの会議室・飲食業・ショールーム等

